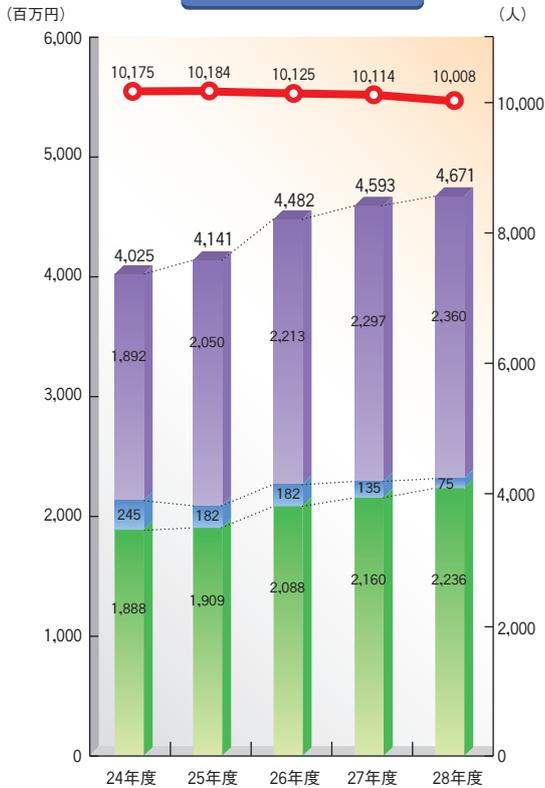


野 木 町

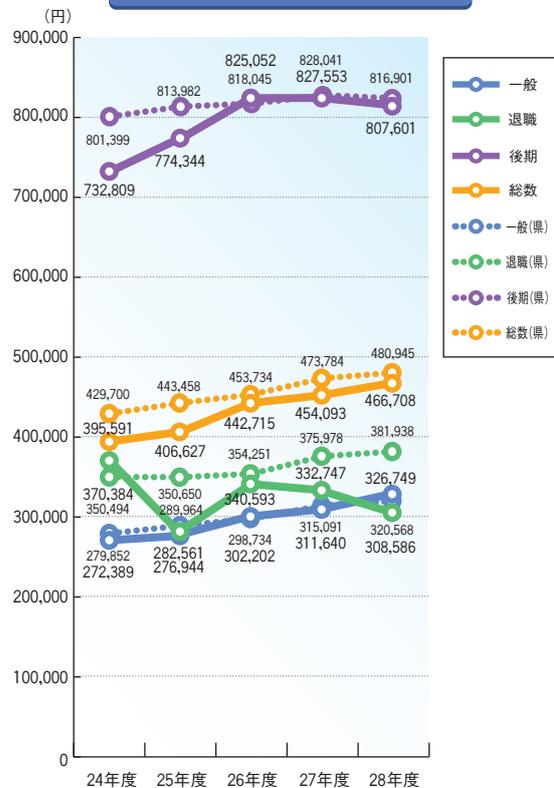
野木町



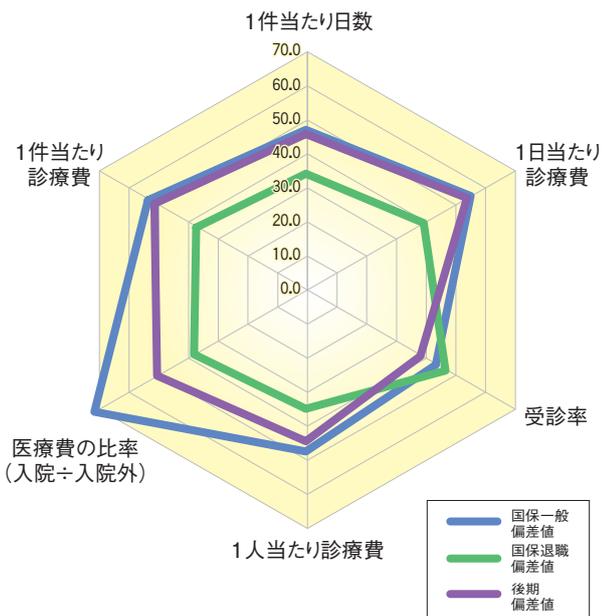
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

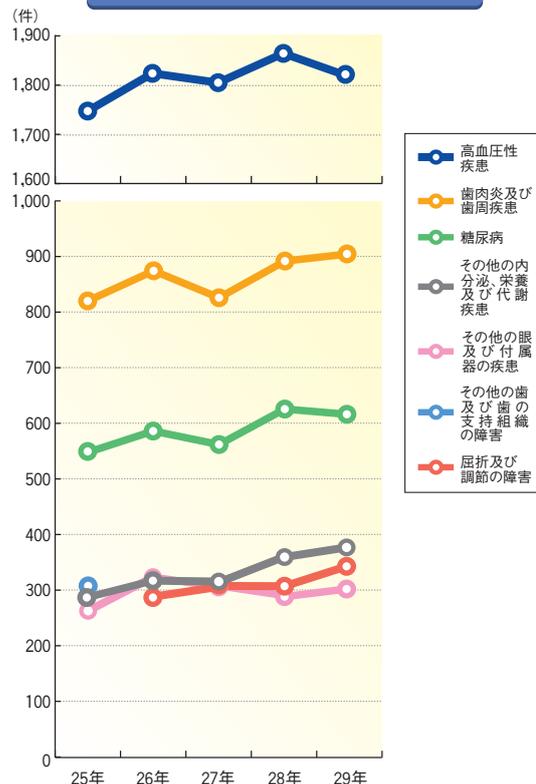


平成28年度 3要素と医療費諸費 (県平均との比較)

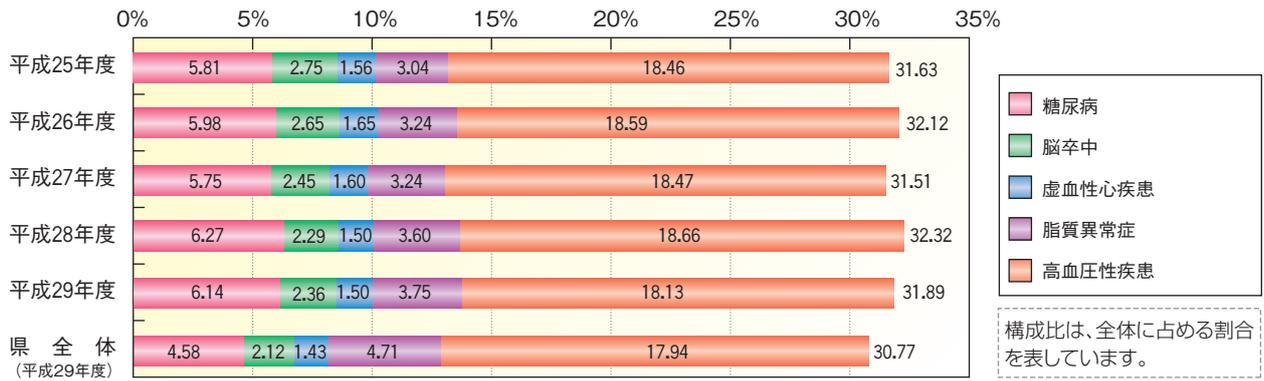


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

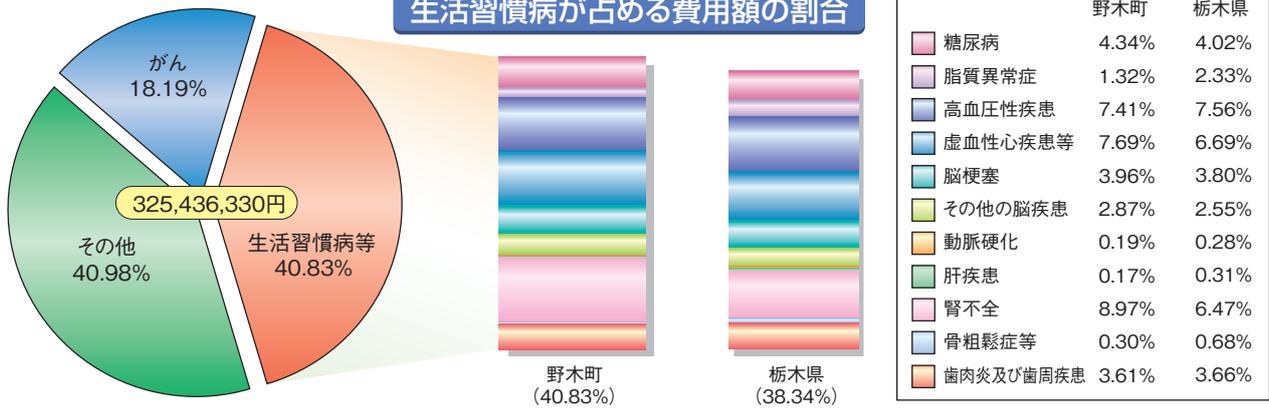
多受診疾病上位6位の推移



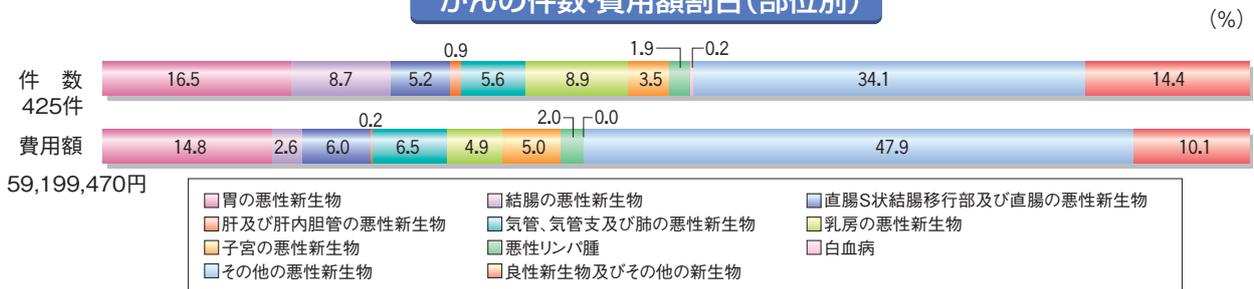
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



野木町の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成28年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般2,236,268千円(103.5%)、退職74,678千円(55.1%)、後期2,359,946千円(102.7%)で、全体では4,670,892千円(101.7%)と増加している。()は前年度との比較。

平成28年度平均被保険者数は10,008人で、内訳は一般6,844人、退職242人、後期2,922人である。前年度比較すると全体で99.0%と減少している。

また、平成28年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は466,708円(12,615円増)、一般は326,749円(15,109円増)、退職は308,586円(24,161円減)、後期は807,601円(19,952円減)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療費諸費(県平均との比較)をみると、一般及び後期は1日当たり診療費と医療費の比率、1件当たり診療費において県平均を上回る偏差値となっており、その他の数値は県平均を下回る偏差値となっている。

★疾病の状況

平成29年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位屈折及び調節の障害、6位その他の眼及び付属器の疾患で、中でも、5位の屈折及び調節の障害の件数は年々増加しており、平成25年度に比べ件数は1.34倍、費用額は1.48倍となっている。

また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比は高く、中でも糖尿病は県全体に比べ特に高い構成比になっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成29年5月診療分の総費用額が325,436,330円で、がんが18.19%、生活習慣病等が40.83%を占めている(県全体 がん12.74%、生活習慣病等38.34%)。費用額の占める割合が高い疾病は、腎不全8.97%、虚血性心疾患等7.69%、高血圧性疾患7.41%となっている。

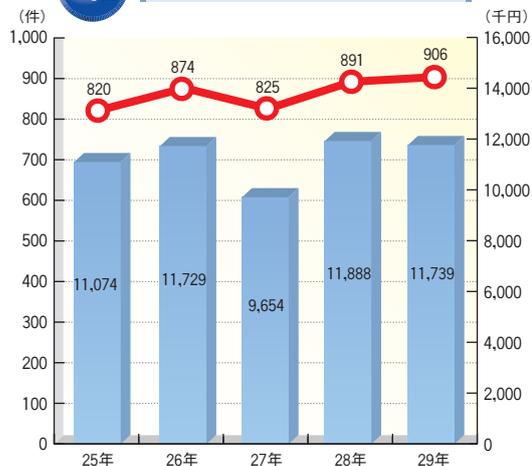
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数、費用額共に胃の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

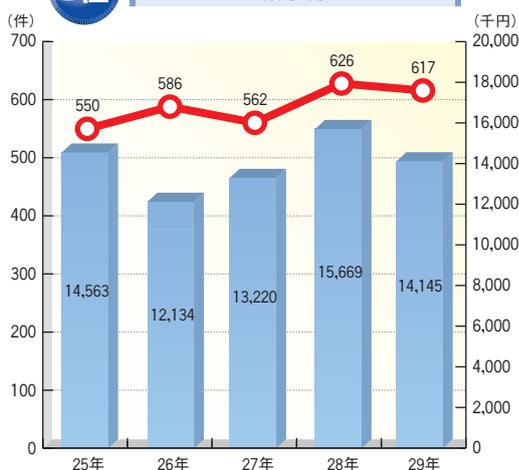
1位 高血圧性疾患



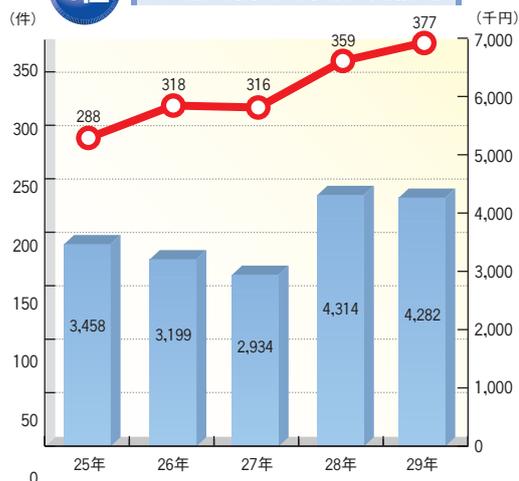
2位 歯肉炎及び歯周疾患



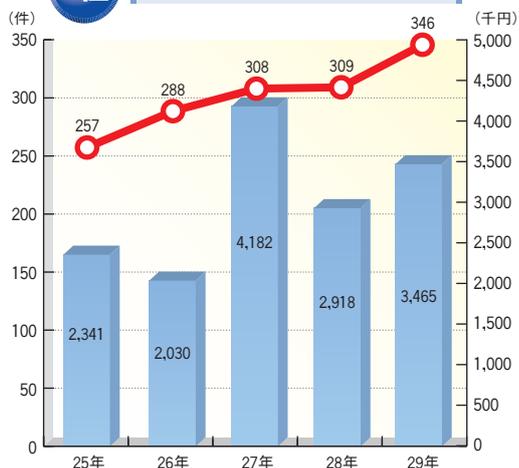
3位 糖尿病



4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位 屈折及び調節の障害



6位 その他の眼及び付属器の疾患

